【資料1】

第３次富山市総合計画審議会
第４回部会
議事

Ⅰ. 検討内容・スケジュール・・・p1

Ⅱ. 本日の議題・・・p2

Ⅲ. 第3次富山市総合計画　前期基本計画(素案)・・・別紙

Ⅳ. 第3回部会でのご意見及び対応一覧・・・p4

Ⅰ．検討内容・スケジュール

回	第　３　回	第　４　回	調　整　部　会
時期	令和８年８月	令和８年９月	令和８年10月
議事	第３次総合計画 前期基本計画（素案） 「分野別の政策」 について 各担当分野における政策・施策に対して検討	「分野別の政策」 の修正案について 第３回部会でのご意見により修正した「分野別の政策」について検討	答申（案）について 各部会での議論を踏まえて作成した「答申（案）」について調整

TOYAMA CITY

Ⅱ. 本日の議題

本日は、「第3次富山市総合計画前期基本計画（素案）」の内容を踏まえ、主に以下の点についてご意見を頂きたいと存じます。

①「分野別の政策」の修正案について

第3回部会でのご意見も踏まえ修正した「分野別の政策」に対し、ご意見をお願いします。

（前回からの修正点）

- 第3回部会でのご意見による修正（p5～参照）
- 「現状と課題」にグラフ・表を追加
- 「取組の進捗を測る主な指標」を追加

（参考資料）

- 第3回部会議事録
- 総合計画事業一覧

Ⅲ. 第３次富山市総合計画
前期基本計画（素案）
「分野別の政策」
※別紙

Ⅳ. 第３回部会でのご意見及び対応一覧

【人材・暮らし部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
1	基本計画	全体	全体的に、富山市の取組が市民に伝わるよう、具体的に記載することが必要である。取組の拠点となる施設名、取組を担う団体等を明記し、市民が取組を具体的にイメージできるようにしてはどうか。	―	総合計画の基本計画においては、計画期間中における中長期的な「取組の方向性」を示すこととしています。ご指摘の具体的な施設・団体・所管課・取組の名称などについては、計画期間中に変更となる可能性があることなどにより、施策ごとに慎重に検討しています。なお具体的な名称のうち必要なものについては、各個別計画や、毎年度策定する実施計画に記載する予定としています。	事務局
2	基本計画	結婚・出産・子育て全般	人口減少対策をプロジェクトとして掲げることから、分野の順番も１番に「結婚・出産・子育て」としたのではないかと思う。しかし、人口減少対策をあまり前面に出さない構成に変えたのであれば、「結婚・出産・子育て」という政策の順番や、分野別の順番が本当にこれでよいのか、もう一度検討した方がよいのではないか。むしろ、「こどもまんなか社会の実現」という考え方が先に来ることも考えられる。	―	分野の順番については、審議会や部会でご意見をいただいているところであり、改めて検討したいと考えております。 なお、「結婚・出産・子育て」という流れは時系列的に分かりやすい表記であると考えています。	事務局
3	基本計画	結婚・出産・子育て全般	結婚したいと希望している若い人が多いという現実に対して、その希望を叶えていくことは、この政策の大事なところであることから、「結婚・出産・子育て」という並びで問題ないのではないかと。個人の意志を尊重しつつ、社会を維持していくという命題に応えていかなくてはいけないと思う。	―	No2のとおり	事務局

【人材・暮らし部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
4	基本計画 P3・6	結婚・出産・子育て 取組の方向性・政策2	3ページの取組の方向性に「若者の出会いから結婚、子育てまでを切れ目なく支え」と記載されている。一方、6ページの政策2では「妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える」とされており、「まで」が付かない表現になっている。結婚・出産・子育ての分野であるため、「子育てまで」という表現では、受け取り方によっては子育てまでしか支えてくれないのかと捉えられることもあると思うため、ご検討いただきたい。	―	分野①は「結婚・出産・子育て」に関する取組を記載したものであり、「若者の出会いから結婚、子育てまで」との記載は、この分野の取組の範囲を記載した表現となっております。	事務局
5	基本計画 P5	結婚・出産・子育て 政策1施策3	施策３において、「交際から結婚に至る過程でのサポートなど、結婚の希望をかなえられるよう支援する」との記載があるが、若者のニーズがあるか疑問である。そのため、「交際のサポートを行います」という表現にとどめてはどうか。	ー	当施策においては、出会いだけでなく、交際に至るサポート、交際中カップルに向けた取組まで包括的にカバーする方針としていることから、原案のままとしたい。 一方で、市民から求められるニーズを的確に把握しながら、進めてまいりたいと考えております。	市民生活部
6	基本計画 P6	結婚・出産・子育て 政策2施策1	施策１に「LDR室」と記載があるが、市民が理解できるよう、簡単な説明が必要である。	○	製本時、以下について「用語集」に記載します。 ・LDR室：妊産婦が出産から回復期までを移動なく過ごすための陣痛室、分娩室及び回復室が一体となった病室	病院事業局
7	基本計画 P6	結婚・出産・子育て 政策2施策2	「病児・病後児保育」については、事業所内保育所での取り組みを進めていただきたいと考えており、そのような内容を加えてはどうか。	―	総合計画の基本計画は、計画期間中における中長期的な「取組の方向性」を示すものであることから、事業所内保育所を含む私立保育施設等に対して幅広く支援を行っておりますので、対象の一部のみを取り上げることは考えておりません。	こども家庭部

【人材・暮らし部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
8	基本計画 P11	教育 政策1施策2	「適切な改修により施設の長寿命化を図り、体育館に空調設備を整備」とある。学校によっては体育館だけでなく、さまざまな優先順位が変わるところもあると思うため、体育館だけを記載することでよいのか。	―	体育館への空調設備の設置以外についても各学校毎に優先順位をつけ施設整備を行っているところですが、熱中症対策、避難所としての防災機能強化の観点から空調整備事業を総合計画に位置づけており、このような記載としています。	教育委員会
9	基本計画 P12	教育 政策2施策1	「学校運営協議会を設置し」とあるが、すでに設置が進んでいるため、あえて「設置し」という表現にする必要があるのか。	○	「学校運営協議会の機能を活かし」と改めます。	教育委員会
10	基本計画 P12	教育 政策2施策3	「家庭教育に関する情報交換や学びの機会を提供します」とあるが、ここは「学び」のところに「親」を入れ、「親学び」としていただけないかと思う。県でも市でも親学びに非常に注力しているため、できればそのように表現していただきたい。	○	ご意見のとおり修正します。	教育委員会
11	基本計画 P13	教育 政策3施策1	子どもたちが地元の学校へ行きたいと思える学校をどのように作っていくかが目指す方向であり、すべての子どもが学校へ行きたいと思える教育環境を整えることが大切であるということを含ませたほうがよいのではないか。	○	当分野の「取組の方向性」を以下のとおり修正します。 「一人ひとりの可能性を引き出し、**安心して学校へ通えるよう、**質の高い教育環境の整備を一層推進します。」	教育委員会

【人材・暮らし部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
12	基本計画	健康・福祉・医療 全般	分野のタイトルが「健康・医療・福祉」という並びになっている一方で、政策を見ると、「健康、福祉、医療」の順番となっており整合が取れていない。順番については、この分野は福祉に注力しているように見受けられるため、「健康・福祉・医療」の順番に統一した方が、理解しやすいのではないか。	○	ご提案のとおり、分野名を「健康・福祉・医療」に修正します。	事務局
13	基本計画 P18	健康・福祉・医療 政策2施策4	「ゲートキーパー」という言葉は、広く知られている言葉なのか。説明が必要ではないか。	○	製本時、以下について「用語集」に記載します。 ・ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人	福祉保健部
14	基本計画	スポーツ 全般	重点推進事項の中に、「まちづくりとスポーツ」に関することを入れてもよいのではないか。	―	スポーツにつきましては、第2次総合計画では施策の一つだった取組を、第3次総合計画では「分野」の一つとして取り上げ、さらに文化・芸術とも区別して記載することで、重点化していることを表現しています。	事務局
15	基本計画	スポーツ 全般	最初に示された基本計画（案）では、プロジェクトとして「交流人口の増」について書かれてあったが、修正によりなくなってしまった。このことについて、どこかに記載してもよいのではないか。	○	テーマ1の「主な取組」に「関係人口・交流人口の創出・拡大」を追加しました。	事務局

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
1	基本計画 P45	都市・交通分野 政策① 施策4	「公共交通沿線居住の推進」では、住宅取得に関するインセンティブが記載されているが、事業所やオフィスのまちなか移転に対するインセンティブについても検討いただきたい。	ー	都市交通分野政策②施策1に「必要な都市機能の誘導を促進します。」と記載しています。 また、総合計画事業(案)の「コンパクトシティ推進事業」のなかで検討を進めることとしています。	活力都市創造部
2	基本計画 P47	都市・交通分野 政策③ 施策2	地域交通をコミュニティバスとデマンド交通の2つに分類していたと認識しているため、デマンド交通の概念についても本計画に盛り込んではどうか。	○	P47の施策2についてデマンド交通の概念について盛り込むよう修正します。	活力都市創造部
3	基本計画 P46	都市・交通分野	46ページで「コンパクトシティのさらなる継続・推進」の色を強めてもいいのではと思う。施策の中に関連する文言はあるが、コンパクトシティ政策はまだ道半ばであり、完成したものではないと認識している。持続可能な水準まで都市の形が落ち着いた状態が、コンパクトシティの完成形であると考えるが、現状はまだそこに到達していないため、引き続き新たな政策を進める必要がある。この点について、もう少し明記してもよいと考える。	ー	コンパクトシティの継続や推進については、基本構想の3富山市の暮らしを支える都市のかたち(1)都市の再構築によるコンパクトなまちづくり及び、前期基本計画の2施策を推進する基本的な視点等に記載しています。	活力都市創造部
4	基本計画 P46	都市・交通分野	総合計画においても「適切な土地利用の形成を目指す」といった文言を位置付けることが望ましい。	ー	基本構想の3富山市の暮らしを支える都市のかたち(1)都市の再構築によるコンパクトなまちづくりに記載の都市の再構築や、主な関連計画である都市マスタープランに基づき適切な土地利用を図ることとしております。	活力都市創造部
5	基本計画 P48	都市・交通分野 政策④	廃止を望むという趣旨ではなく、現実的にそのような判断が必要となる可能性を踏まえ、総合計画の中に関連する文言を位置付けるべきではないか。	ー	橋梁をはじめとする道路施設は、優先度に応じてメリハリのある効率的な修繕や更新を行うことで、可能な限り長く利用し続けることを目指していますが、廃止を積極的に実施しているわけではないことから、原案の表現に留めたいと考えております。	建設部

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
6	基本計画 P43	都市・交通分野 取組の方向性	都市の再構築の部分に土地利用制度や居住誘導区域以外の区域の扱い、用途地域との関係などを盛り込むことで整理できるのではないか。	ー	基本構想の3富山市の暮らしを支える都市のかたち(1)都市の再構築によるコンパクトなまちづくりに記載の都市の再構築や、主な関連計画である都市マスタープランにおける都市空間マネジメントの方針等で整理できるものと考えています。	活力都市創造部
7	基本計画 P45・47	都市・交通分野	特に交通分野については、交通事業者や沿線自治体との連携を位置付けることが望ましい。	○	P45の施策1とP47施策2について、交通事業者等との連携を位置付けるよう修正します。	活力都市創造部
8	基本計画 P46	都市・交通分野	これまで学生を含む多様な担い手が関わってきた経緯があるため、「産学官の連携」により取り組む旨を盛り込むことが考えられる。	○	大学と連携した商店街活性化への取組やフィールドワークなどに協力していることから、都市・交通分野政策②施策2の「施設整備を進め、県都の玄関口にふさわしい活力」を「施設整備を進め、産学官民の連携により県都の玄関口にふさわしい活力」に修正します。	活力都市創造部
9	基本計画 P48	都市・交通分野 政策④	橋梁等の社会インフラ整備については、廃止という表現ではなく、「選択と再編」といった表現を用いることで、趣旨を整理できるのではないか。	ー	5と同じ	建設部
10	基本計画	都市・交通分野 政策③ 施策1	政策3に記載されている共創によるサービス創出については、現在も実証事業等を積み上げている段階であり、実際に住民がどのような環境に置かれるのかは、まだ十分に見えていない部分がある。そのため、現時点で想定している施策や取組をもう少し具体的に示すことが望ましい。	ー	デジタル技術は日進月歩の分野であり、その進展に合わせて施策や取組についても柔軟に最適化していく必要があります。具体的な記載をした場合、陳腐化しやすく、最長10年を対象とした本計画への具体的な記載については慎重に判断しており、原案のままとしたいと考えております。	企画管理部

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
11	基本計画	都市・交通分野	郊外の概念が広く、郊外の中でも過疎化が進んでいる中山間地域も含めて郊外全体をデジタル技術によって不便なく維持するという印象を与える表現は、ややミスリーディングではないかと考える。郊外の中でも地域特性や人口密度の違いに応じて、対応方針を分けて検討する必要がある。	○	本市においては、コンパクトシティ政策をスマートシティ政策で補完することで、地域特性に応じた市域全体の均衡ある発展を目指し、中山間地域をはじめとする郊外部においても、不便を感じることなく暮らせるまちを目指しています。 このことから、政策3のリード文を「郊外や中山間地域でも、**不便を感じることなく**暮らせる、多様なライフスタイルを実現します。」に修正します。 なお、地域特性に応じた各種取組については、政策3の施策2にも記載しております。	事務局
12	基本計画 P47・48	都市・交通分野 政策③ 政策④	社会インフラについても同様に、人口や世帯数が減少していく中では、新たに整備を進めるよりも、既存インフラを賢く維持管理していく方向性が重要になる。この点は政策4に記載されているが、一方で政策3には新たな道路整備に関する記載もあり、方針がやや分かりにくい部分がある。矛盾とまでは言えないものの、人口密度が低下する地域に新たな道路を整備する場合、将来的な行政コストが増加することも想定されるため、誤解を招かない表現に整理することが望ましい。	○	既存道路の改良を目的としているため、47頁の施策3「市民生活を支える道路の整備」のうち、「市民生活を支える幹線道路への接続により、身近な拠点や公共交通へのアクセス向上を図ります。」の記載を削除します。	建設部
13	基本計画 P46	都市・交通分野 政策② 施策5	防災体制の整備については、計画の中でもより強調して記載することが望ましい。また、46ページには「空き家等の除却」と記載されているが、空き家を放置することは、防災上も望ましくない。防災の観点からも、空き家対策を位置付けることが必要ではないか。	○	P76「環境分野－政策②－施策2」 「空き家所有者や市民に対する情報発信を図り、空き家対策への意識の向上を図ります。」の前に、「放置された空き家は、倒壊の危険や住環境への悪影響、治安の悪化など、重大な問題を発生させる恐れがあることから、」を追記する。	活力都市創造部

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
14	基本計画 P51	防災・防犯分野 政策① 施策2	51ページの施策2について、避難所での生活に関する配慮を盛り込むことが望ましい。	○	避難所での生活に関して環境改善が必要であることから、「激甚・頻発化する自然災害への対策として 、防災資機材や備蓄物資の整備を進め、避難所の生活環境の改善に努めます。」に修正します。	防災危機管理部
15	基本計画 P53	防災・防犯分野 政策③	53ページの政策3では「災害に強いまちづくり」と記載されているが、災害に強いだけでなく、早期に回復できるまちづくりという観点も重要である。そのため、レジリエンスの推進についても、計画の中に位置付けることを検討していただきたい。	ー	都市のレジリエンスについては、災害対応に限定されるものではなく、人口減少・環境問題等市政全般に広く関わるテーマのため、防災・防犯分野のみでの位置づけは困難と考えます。ソフト・ハード両面において、各部局での防災機能強化に努めます。 （分野横断重点テーマ「安全・安心を支える防災力の強化」において、都市レジリエンスの向上を図る旨の記載について検討中です）	防災危機管理部 （事務局）

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
16	基本計画 P54	防災・防犯分野 政策④ 施策1	消防団の魅力向上に加え、持続可能な体制づくりという観点を盛り込むことが望ましい。また、これは消防団に限らず、救急体制についても同様であり、持続可能な救急体制の確保についても検討していただきたい。	○	施策本文を「老朽化した消防分団器具置場の計画的な改築により、地域防災拠点機能の充実を図るとともに、地域に密着した持続可能で魅力ある消防団づくりを推進します。」に修正します。	消防局
		防災・防犯分野 政策④ 施策4		―	施策4に記載している「救急救命士の計画的な養成を進め、高度な救急活動を安定的に実施できる体制を構築します。」により、「計画的」に救急救命士の養成を続けること、そして一時的ではなく「安定的」に高度な救急活動を実施できる体制を構築することで持続可能な救急体制を確保することを想定しています。	
17	基本計画 P78	環境分野 政策④ 施策3	今後、この枠組みの中で支援対象となる範囲がさらに広がる可能性もあるのであれば、将来的に幅広い取組を対象とする趣旨が伝わる表現にした方がよいのではないか。	○	市内企業の環境に関する技術導入を通した開発途上国の環境改善を目指し、内容は再生可能エネルギー、下水処理、EVモビリティ等の技術を対象としており、将来的に環境分野以外へ範囲を広げることは考えていないため、このままの記述とします。 一方で、市内での再生可能エネルギーの地産地消や、エネルギー関連サービスの振興を目指す取組を追記します。	環境部

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
18	基本計画 P78	環境分野 政策④ 施策3	ゼロカーボンの推進は、車社会からの脱却や公共交通の活用にも大きく貢献し得る取組である。富山市がこれまで進めてきた取組との関係についても、必要に応じて触れてよいと考える。記載スペースとの関係もあるが、検討していただきたい。	－	本市ではこれまで環境モデル都市や環境未来都市に選定され様々な取組を進めてきたところですが、その中心は「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」であり、今後も重要な取組の1つとして位置付けていきますが、スペースの限りもあることから総合計画には記載はせず、現在同時進行で策定中の富山市第3期環境基本計画で触れていきます。	環境部
19	基本計画 P78	環境分野 政策④ 施策1，2	富山市には環境省が公開している区域施策編及び事務事業編の計画があると認識しているが、総合計画の内容はそれらと連動しているという理解でよいか。太陽光発電の設置状況等についても、当該計画の中で一定程度詳細に整理されているのではないかと考えるが、事務局の認識を伺いたい。	－	区域施策編と事務事業編は、本市が策定している「富山市地球温暖化対策推進計画」のことであり、今回総合計画を策定するにあたっては、この「計画」の内容と整合性を取ることとしています。太陽光発電を含む再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギーの推進、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロなど、両計画の方針や目標は一致しています。	環境部
20	基本計画 P77	環境分野 政策③ 施策1	ごみの発生抑制に取り組む旨が記載されているが、「ごみを出さない」と言い切る表現は、現実的にはやや強い印象を与える可能性がある。「ごみをできるだけ出さない」など、実態に即した表現にすることも考えられるため、文言について検討していただきたい。	○	施策本文を「ごみの発生抑制に取り組み、ごみを**できるだけ出さない**ライフスタイルへの転換を図ります。」に修正します。	環境部

【都市・環境部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
21	基本計画 P76	環境分野 政策② 施策2	富山市において直ちに同様の制度を導入するという趣旨ではないが、空き家を放置することによるメリットを抑制し、流通や適正管理を促す方向性を示す表現を検討してもよいのではないか。	○	P76「環境分野－政策②－施策2」 「空き家所有者や市民に対する情報発信を図り、空き家対策への意識の向上を図ります。」の前に、「放置された空き家は、倒壊の危険や住環境への悪影響、治安の悪化など、重大な問題を発生させる恐れがあることから、」を追記する。空き家を放置することによる市民生活への悪影響があることを啓発し、空き家の流通や適正管理を促していきます。	活力都市創造部

【活力・交流部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
1	基本計画 P58	産業・雇用 政策2施策1	計画には若者に魅力的な企業の誘致やマッチング機会の創出が記載されているが、それに加えて、現在市内にある企業の魅力向上に取り組むことも重要である。	ー	人材確保に対して、市内企業の魅力向上への取組みが必要であることは認識しており、57頁の政策1施策2において、事業拡大を支援することで競争力強化と付加価値の向上を後押しすることや、59頁の政策3において、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組むこと等を記載していることから、原案どおりとしたい。 今後とも市内企業の様々な観点での魅力向上に努めます。	商工労働部
2	基本計画 P58	産業・雇用 政策2施策1	58ページの施策１「若者の就業促進と地域人材の確保」の四つ目に、「学生との接点を確保し市内企業への就職選択につなげます」と記載されているが、大学生だけでなく高校生を対象とした企業理解やキャリア教育を充実させる必要がある。高校生が十分な情報を得て、幅広い選択肢から進路を検討できる機会を設けてはどうか。	○	施策本文を「求職者優位な売り手市場の状況に対し、関係機関との連携により、企業情報の発信やイベント周知を強化することで、企業認知度を向上させるとともに、**高校生や大**学生**等**との接点を確保し市内企業への就職選択につなげます。」に修正します。 なお、高校生の就職活動は、大学生とは異なり、ハローワークの確認を経た求人票が、学校を介して公開され、9月から一斉に選考が始まる「学校斡旋」が一般的な流れです。	商工労働部
3	基本計画 P58	産業・雇用 政策2施策1	大学においても、地域社会に必要とされる人材を育成し、その成果を社会に還元することが重要である。こうした取組が今後進むことを踏まえ、施策の中に教育機関との連携をより明確に位置付けてはどうか。	○	施策本文を「**教育機関との連携により、**県内外の大学と連携したUIJターン就職意識醸成イベント**等**を実施し、富山で働く魅力や市内企業の認知度向上を図ります。」に修正します。	商工労働部

【活力・交流部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
4	基本計画 P61・62・63	観光・交流 政策1・政策2	61ページの取組の方向性には、「観光資源の魅力を体験と消費につなげ」と記載されている。一方、63ページでは、政策1が「滞在型観光と広域周遊の推進」、政策2が「魅力ある観光資源の創出と発信」となっている。まず観光資源を創出・発信し、その後に滞在型観光や広域周遊につなげる方が論理的であるため、政策1と政策2の順序を入れ替えてはどうか。	○	ご提案のとおり、政策1と2の順番を入れ替えます。	事務局
5	基本計画 P61	観光・交流 取組の方向性	61ページのニューヨーク・タイムズ紙の「2025年に行くべき52か所」への選定については、計画策定時には過去の情報となり、その後も毎年別の地域が選定されることから、記載は削除してもよいのではないか。	ー	国内外における本市の知名度向上や観光客誘客の大きな契機となったため、原案どおりとしたい。	商工労働部
6	基本計画 P65	観光・交流 政策3施策3	65ページの施策３「国際交流の推進」に記載されている４つの姉妹都市については、市民に十分知られていない。姉妹都市の都市名も記載すべきではないか。交流実績を含めて積極的にＰＲする必要がある。	○	施策本文を「相互の訪問団派遣・受入などにより長く交流を深めてきた4つの「姉妹友好都市」（ブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市、中国の秦皇島市、アメリカのダーラム市、オーストラリアのダボ・リージョナル・カウンシル）と、観光や文化など新たな交流を視野に入れ、今後も友好な関係の構築に努めます。」に修正します。	企画管理部 （文化国際課）
7	基本計画	農林水産 全般	市町村合併した地域の約7割が山林であるため、熊対策や森林環境税に関する内容を計画に記載してはどうか。	ー	熊対策については、52頁の施策「有害鳥獣による人身被害の防止」の中で記載しております。 なお、森林環境税については、本市森林施策の様々な事業に充当されており、本市としては、個々の財源の内容の記載にかかわらず、幅広い取り組みを推進すべきと考えております。	農林水産部

【活力・交流部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
8	基本計画	文化・芸術全般	文化・芸術分野の記載には富山城が含まれていない。富山市は城下町であることから、その歴史や文化について市民に広く知ってもらうためにも、富山城に焦点を当てた取組を位置付けてはどうか。	―	（戦災復興モニュメントである）富山城については、「文化・芸術」分野p83に記載の政策3「伝統文化の継承と文化遺産の活用」 施策1「文化遺産等の保存・活用」における「文化遺産」に含んでおり、 富山城の歴史の常設展示等の事業を実施しております。 一方、今後の市としての活用方針について、現在富山城を含めた博物館のあり方について検討を進めているところであり、 現時点で具体的な方針について総合計画に記載することは難しいと考えております。	教育委員会
9	基本計画	観光・交流 政策4施策3	環水公園は、金沢方面を含む市外から人が訪れる富山の代表的な場所となっている。県又は市の所管にかかわらず、クルーズ船等の既存の取組も生かしながら、さらに魅力を高め、重点的にPRしてはどうか。	―	富山駅から近く、観光にも魅力的な場所であることから、水上ラインによる市内周遊もできるスポットとして、すでに観光パンフレットへの掲載や、誘致宣伝において周知に努めているため、原案どおりとしたい。 今後とも効果的なPRに努めます。	商工労働部

【活力・交流部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
10	基本計画 P81	文化・芸術 政策1	政策1「質の高い文化・芸術の創造と観光・まちづくり・産業等との連携」という名称について、本文では新しい価値の創造を意味していると考えるが、名称だけを見ると、これから質の高い文化・芸術を新たに作り出すという意味にも受け取られかねない。 例えば、「観光・まちづくり・産業等との連携による質の高い文化・芸術の共創」のように語順と表現を見直してはどうか。「創造」よりも、様々な主体や分野が関わりながら共に作り上げる「共創」という表現が適していると考える。	○	文化芸術基本法の趣旨を踏まえ、文化・芸術の振興にとどまらず、観光やまちづくり等の他分野との連携による総合的な政策の展開が必要と考えているため、ご指摘のとおり「観光・まちづくり・産業等との連携による質の高い文化・芸術の共創」に改めます。	企画管理部

【協働・連携部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
1	基本計画	「取組の方向性」	「取組の方向性」→「現状と課題」→「政策・施策」が示される構成となっている。 まず現状と課題を示し、それに対してどのような方向性で対応するのかを整理したうえで、具体的な施策につなげる方が理解しやすいのではないか。	―	「取組の方向性」には各分野のこれまでの取組や現状・課題も記載した上での方向性を示しており、分野全体を概観するために各分野の冒頭に記載しております。	事務局
2	基本計画	分野横断重点テーマ	分野横断型テーマ1「DX・デジタル技術による暮らしと産業の変革」には、AI及びIoTの文言がある一方で、ICTという言葉が見当たらなかった。 地域コミュニティや地域連携を支える基盤としてICTは重要である。	○	「ICTを活用した市民生活・地域活動のデジタル化」に修正します。	事務局
3	基本計画 P29	地域コミュニティ 政策1施策2	29ページ施策2「男女共同参画社会の推進」について、表現上の提案であるが、「ジェンダー平等への理解促進」という表現は、ジェンダー平等・多様性への理解促進とした方が、より受け入れられやすいのではないか。	○	「若者向けのイベントや男女共同参画進センターにおける啓発講座の開催**等**により、性別に基づく偏見や固定観念を見直し、ジェンダー平等**や多様性**への理解を促進します。」に修正します。	市民生活部

【協働・連携部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
4	基本計画 P30	地域コミュニティ 政策2施策2	将来に地域を担う子どもを対象とした活動に関する記載が少ないように感じている。例えば子どもたちが公民館で活動するなどが記憶に残れば、将来富山に残って地域と一緒に頑張ろうという機運醸成にもつながると思う。	ー	政策2施策2において、各地域が取り組む活性化事業の参加対象には、当然ながら子どもも含まれています。また、地域参画という観点からは高校生以上の「学生」が地域活動の企画に携わるなど、主体的に地域コミュニティに関係していくことを想定しておりますことから、「子ども」というキーワードはありませんが「参加者」「企画者」として若年層を包んだ活動等を想定しています。 また、子どもを対象とした活動のうち特に公民館活動については、分野2「教育」政策2施策2「地域とともに子どもが育つ環境づくり」（素案P.12）に含まれると認識しており、「学校や公民館等を活用し、多様な体験活動や地域住民との交流活動を行い、地域における子どもたちの安全・安心な居場所を確保します」と記載されています。 加えて、多様な市民参加型事業で地域の誇りと愛着を育むことが必要であることも認識しており、分野6「郷土愛」政策2施策2「ふるさと教育の推進」（素案P.36）において、「小学生を対象に、地域の自然や文化財をめぐる参加型学習を実施し、郷土への理解と愛着を深めます」や「歴史や文化、人とのつながりや生活など様々な地域資源の学びを通じて、子どもたちのふるさとを大切にする心を育みます。」と記載しています。	市民生活部 （教育委員会）

【協働・連携部会】

No.	資料ページ	該当箇所	ご意見	計画反映	対応	担当部局
5	基本計画 P36	郷土愛 政策2施策2	36ページ施策2「ふるさと教育の推進」について、地域の歴史や文化についての学びを通じてと記載があるが、ここに「人とのつながりや生活など地域の様々な地域資源の学びを通じて」といった表現を入れていただきたい。	○	施策本文中、「地域の歴史や文化についての学びを通じて」を「歴史や文化、人とのつながりや生活など様々な地域資源の学びを通じて」に修正します。	教育委員会
6	基本計画 P35	郷土愛 政策1施策1	戦略的な発信という表現だけではこれまでもよく見る内容で、今までと同じではないかと捉えられるため、表現は工夫できればと思う。	○	施策本文を「富山市の魅力を戦略的かつ効果的に発信します。」に修正します。	企画管理部
7	基本計画 P35	郷土愛 政策1施策2	県内に住みながら県外企業でリモートで仕事することに関する支援も記載として含められると、2拠点居住の話にもつながるのではないか。	ー	P35に記載のある施策2の「移住希望者との交流の場」、「移住検討段階からのサポート」、「先輩移住者による情報発信」はいずれもリモートワーカーも対象としています。 さらに今後は、県外企業に所属されるリモートワーカーが市内で仕事をされるにあたり、どのような支援が求められているのか、ヒアリングを実施するなどして検討していきます。	企画管理部
8	基本計画 P38	行政・パートナーシップ 現状と課題	指標については、分かりやすいものを記載いただきたい。行政目線より市民目線で記載いただくと参画意思の醸成に寄与すると思う。	ー	市民にとって分かりやすい指標となるよう、慎重に検討します。	事務局